

にらの新品種「ゆめみどり」の 1 年 1 作連続収穫による単収向上技術の実証

要約

1 年間当たりでの収量比較では、慣行の 2 年 1 作収穫作型に比べ 1 年 1 作連続収穫作型の方が多収となった。また、「ゆめみどり」の収量は、1 年 1 作連続収穫作型において、4 回収穫で 4 t/10a で「タフボーイ」より 14%多収となった。

○ 展示のねらい

「ゆめみどり」は休眠が浅く、葉幅が細くなりにくいいため、1 年 1 作連続収穫に向く品種として期待されている。ウォーターカーテンを用いた保温により、休眠させずに収穫することで、1 年 1 作による単収の向上を実証する。

	品種	保温方法	すて刈り日
1 年 1 作区	ゆめみどり	ウォーターカーテン	10 月 16 日
	タフボーイ		
2 年 1 作区	ゆめみどり	小トンネルによる 3 重被覆	1 月 8 日
	タフボーイ		

○ 主な成果

- ・ 1 年間当たりに換算した収量においては、2 年 1 作区よりも 1 年 1 作区の方が多収となった。また、1 年 1 作区において、「ゆめみどり」は既存品種「タフボーイ」よりやや多収となった。
- ・ 1～2 番刈りにおいては、1 年 1 作区に比べ 2 年 1 作区の葉幅の方が広がった。しかし 1 年 1 作区は、極端な葉幅の低下もなく、1～4 番刈りまで安定した。

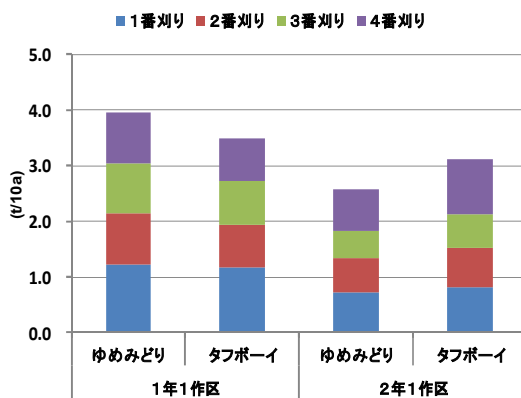


図 1 1 年間当たりに換算した収量

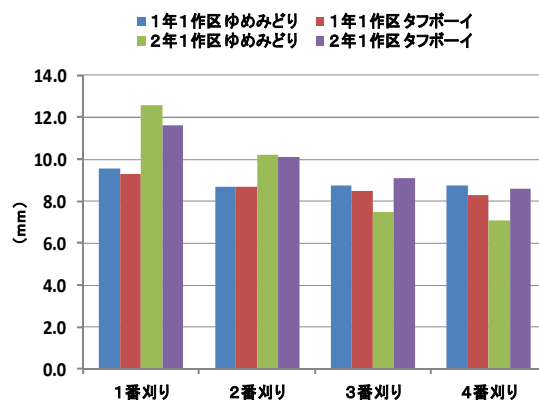


図 2 葉幅の推移

今後の方向性

「ゆめみどり」は、1 年 1 作に適した品種であることが確認できたため、今後も「ゆめみどり」による 1 年 1 作連続栽培を推進していく。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：真岡市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315